2013年度　後期　　リフレクションペーパー

学科名	生物環境化学科				
科目名	特別活動の研究				
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	後期
必修・選択の別	教職必修				
担当者	岡野亜希子				
授業の到達目標（シラバスから）	・特別活動の教育課程上の位置づけ及びその基本的な性格について理解すること。 ・学習指導要領における特別活動の目標や内容について理解する。 ・集団活動の教育的な意味について考えることができる。 ・特別活動の指導に当たっての配慮事項について理解する。				
日程と内容	第１回　オリエンテーション：授業の概要，成績評価について 第２回　特別活動の教育課程上の位置づけおよび教育活動としての意義 第３回　特別活動と各教科・科目、総合的な学習時間等との関連 第４回　学習指導要領改訂の経緯と改訂の趣旨 第５回　特別活動改訂の趣旨および要点 第６回　特別活動の目標(1) 第７回　特別活動の目標(2) 第８回　特別活動の内容（ホームルーム活動〈１〉） 第９回　特別活動の内容（ホームルーム活動〈２〉） 第10回　特別活動の内容（生徒会活動） 第11回　特別活動の内容（学校行事） 第12回　特別活動の評価、指導に当たる教師の姿勢 第13回　特別活動の指導計画の作成，内容の取扱いにあたっての配慮 第14回　これまでのまとめ 第15回　試験とレポート提出について 定期試験				
成績評価基準	定期試験	70%	実技		
	臨時試験		部外評価		
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション		
	課題				
	演習		計		100%
授業到達目標の達成度	おおむね次の点から目標を達成したといえる。 ・特別活動の教育課程上の位置づけおよびその基本的な性格について理解する。 ・学習指導要領における特別活動の目標や内容，および指導にあたっての配慮事項について理解する。 ・学校における集団活動の教育的な意味について考えることができる。				
反省点	事例があるとわかりやすかった，もっと多くの事例を知りたいという意見が多かった。確かに事例がたくさんあると学生のイメージを助けることになるが，ビデオなどで学校の授業の様子を紹介すると時間がかかるため，授業が計画通りに進まないことがあった。				
来年度の計画	事例紹介の資料（写真やスライドなど）を工夫して，限られた授業時間内で，できるだけ事例を紹介するようにしたい。				
授業評価アンケートに対するコメント	学生からの要望に対しては，「来年度の計画」で上げたような改善を試みるつもりである。				
履修登録者数	55 名	定期試験受験者数	48 名	合格者数	45 名	合格率	94%